

平成29年度

## 学校評価の「結果」と「今後に向けて」

すべては 子ども達のために

自立



貢献

保護者及び地域の皆様方には、本校の教育活動に日頃よりご理解とご協力をいただきありがとうございます。

学校評価では大変お世話になりました。この学校評価は、評価すること自体が目的ではなく、子ども達の学校生活をより生き生きと充実したものにするために、学校が何をすべきかを明らかにするためのものです。私たち教職員一同、結果を真摯に受け止め、学校改善につなげることが大切だと考えております。

A～Dの4段階で評価していただきましたが、これは教職員一人ひとりの日々の取組の一つの成果が数値として表れたものとも考えられます。教師が変われば授業が変わる。授業が変われば子どもが変わる。教職員の自己改善にもつなげていきたいと考えます。

7月の評価では、80%以上のプラス評価（A+B評価）をいただいた項目が、保護者では18項目中17項目ありました。また、生徒では、18項目全ての項目で80%以上のプラス評価でした。が、単に、適合度の数値に一喜一憂することなく、数値の低い項目については、学校として、具体的な手立てを考えながら、学校改善につなげていきたいと考えます。

教職員と保護者、地域の皆様が手を携えて、子ども達の成長を図っていくことが重要です。今後ともご理解とご協力のほど、お願いします。

2017.08.30

地域・保護者から信頼される学校 を目指して

# 藤岡市立鬼石中学校



平成29年度 学校評価アンケート集計結果(7月実施)

質問項目		評価者	適合度(%) A+B評価
家庭との連携	1 ホームページ、学校だより、学年・学級通信、授業参観・保護者会などを通じて、学校は、教育方針や生徒の活動の様子を家庭に分かりやすく伝えている。	保護者	100
	学校は、ホームページ、学校だより、学年・学級通信、授業参観・保護者会などを通じて、教育方針や生徒の活動の様子を家庭に分かりやすく伝えている。	生徒	95
	2 学校は、授業参観や学校・学年行事等を通じて、保護者・地域の方々に積極的な学校公開を心がけている。	保護者	100
	学校は、授業参観や学校・学年行事等を通じて、保護者・地域のみなさんに積極的に学校を公開している。	生徒	95
	3 学校は、スクールカウンセラーとの相談や保護者・生徒との三者面談、保護者との二者面談など、保護者が相談できる機会を設けている。	保護者	90
	学校は、スクールカウンセラーとの相談や保護者・生徒との三者面談、保護者との二者面談など、保護者が相談できる機会をつくっている。	生徒	93
全項目90%を超える高い評価をいただいていることは大変ありがたいことです。特に、今年度の学校運営の努力点である「開かれた学校経営」を推進するための一つの手段としてのホームページの充実や学校公開など学校に来校する機会を提供していることに100%の評価をいただいています。これは、私たち教職員の今後のやる気アップにつながります。今後も、子ども達の頑張る姿を中心に学校教育の様々なシーンをWebページを通じて紹介していくとともに、保護者や地域の皆さんが気楽な気持ちで来校できる機会提供に努め、学校と保護者・地域の三位一体となった教育活動をさらに充実させてきたいと考えます。			
学力向上	1 学校は、授業で今日のめあてを提示し、知識・技能の習得とその知識を活用した考える力や判断力、表現力を目指した授業を行っている。	保護者	91
	先生は、授業の始めに今日のめあてを提示し、知識や技能を身につけたり、考える力や判断力、表現力が身につくよう指導してくれる。	生徒	93
	2 学校は、朝学習、漢字・計算コンテスト、英語のスペリングコンテスト、定期テストと授業を連動させながら、基礎基本の定着に努めている。	保護者	90
	先生は、朝学習、漢字や計算コンテスト、英語のスペリングコンテスト、定期テストと授業を連動させながら、基礎基本が身につくよう指導してくれる。	生徒	92
	3 学校は、知識だけでなく、学び方や学習意欲、やる気を大切にした授業に努め、一人一人を認め、褒め、伸ばすよう指導している。	保護者	78
	先生は、知識だけでなく、学び方や学習意欲、やる気を大切にした授業を工夫してくれ、一人一人のよいところを認め、褒め、伸ばすよう指導してくれる。	生徒	83
授業の最初にめあてを提示し、子どもの主体的・協働な学びを取り入れ、授業の終わりにはめあてを踏まえた振り返りをする。基本的な授業の流れができつつあり、子どもの中にもそれが浸透しつつあるようです。基礎学力の定着に関しても、各種のコンテストや定期テストと連動が図れていると評価をいただいています。ただ、知識や技能の習得していくうえで大切な学びの原動力とも言える「学習意欲」や「やる気」、「学び方」などを意識した授業づくりへの意識がやや弱いという課題が明確になりました。一人一人のよさを認め、褒め、伸ばすことを今まで以上に心がけ、「どのように学ぶか」「学びに向かう力や人間性」など、新しい学習指導要領の目指す方向性でもあるので、教職員が意識を継続して学習指導に臨むとともに、校内研修等でも研修し実践を積んでいきたいと考えます。			
豊かな心の育成	1 学校は、「挨拶」の大切さを教え、すすんで挨拶ができるよう指導している。	保護者	97
	先生は、「あいさつ」の大切さを教えてくれ、すすんであいさつができるよう指導してくれる。	生徒	92
	2 学校は、授業だけでなく、学校行事や生徒会活動、部活動などを通して、協力や思いやり、目標に向かって努力する心や態度などの育成に努めている。	保護者	93
	先生は、授業だけでなく、学校行事や生徒会活動、部活動などを通して、協力や思いやり、目標に向かって努力する心や態度などを身につけさせよう指導してくれる。	生徒	96
	3 学校は、生活ノートや学校生活アンケート、行動観察などで、気になる生徒への声かけや相談の機会をつくり、子どもに寄り添い、不安や悩みの解消に努めている。	保護者	80
	先生は、生活ノートや学校生活アンケート、私たちの行動を見て、気になったときに声をかけてくれ、私たちの不安や悩みが軽くなるよう、相談する時間をつくってくれる。	生徒	80
	4 学校は、心の教育の日(19日)を設定して道徳授業を公開したり、人権集中学習を行ったりするなど、道徳教育や人権教育に力を入れ、いじめのない学校をつくろうとしている。	保護者	86
	先生は、19日を心の教育の日として道徳授業を公開したり、人権集中学習を行ったりして、道徳教育や人権教育に力を入れ、いじめのない学校をつくろうとしている。	生徒	89
いずれの項目を目標値である80%以上のプラス評価をいただいておりますが、さらに「子どもに寄り添い、不安や悩みの解消」につなげるための意図的な声かけや機会をとらえたチャンス相談の機会をつくったり、時間をやり繰りし、子どもに向き合う時間をつくり出すよう努めたいと考えます。また、6月19日より、毎月19日を「とく(徳の日)、自分自身と向き合いトークする日、他の人と感じ方・考え方を交流するためにトークする日=心の教育の日」として、道徳授業を公開していますので、是非気楽な気持ちでご来校いただけたらと思います。			



健康・安全	1	学校は、生活習慣チェックや歯の出前講座を実施し、基本的な生活習慣づくりや歯の健康について、子どもの意識を高めようとしている。	保護者	98
		先生は、生活習慣チェックや歯の出前講座を実施して、基本的な生活習慣づくりや歯の健康について、私たちの健康への意識を高めようとしている。	生徒	94
	2	学校は、不審者への対応、110番通報訓練など、避難訓練や交通安全指導、情報モラルに関する指導を通じて、自分の命は自分で守れるよう、安全への意識を高めるよう指導している。	保護者	92
		先生は、不審者への対応、110番通報訓練など、避難訓練や交通安全指導、情報モラルに関する指導を通じて、自分の命は自分で守れるよう、安全への意識を高めるよう指導してくれる。	生徒	95
健康・安全	3	学校は、新1年生の自転車講習会や入学後の自転車安全点検、交通安全に関する指導などを通じて、自分の命は自分で守れるよう、安全への意識を高める指導をしている。	保護者	99
		先生は、新1年生の自転車講習会や入学後の自転車安全点検、交通安全に関する指導などを行い、自分の命は自分で守れるよう、私たちの安全への意識が高まるよう指導してくれる。	生徒	95
	4	学校は、ノーマディア読書デーや情報モラル・ネットマナー、携帯(スマホ)やインターネットとのつきあい方などの指導を通じて、危機意識を高め、安心・安全に生活できる力をつけようとしている。	保護者	93
		先生は、ノーマディア読書デーや情報モラル・ネットマナー、携帯(スマホ)やインターネットとのつきあい方などの指導を通じて、私たちの危機意識を高め、安心・安全に生活できる力をつけようとしている。	生徒	93
いずれの項目も90%を上回る高評価をいただいています。学校は、安全・安心な場所であることが重要であり、子ども達の安全への意識高揚と危険を回避する力や態度の育成に今後も努めて参ります。また、4の項目の中にある「携帯(スマホ)」を使った友人関係のトラブルが、残念ながら本校でも複数件起きています。昨年度、保護者と子ども達で決めた「ネット利用に関する鬼中五箇条(スマホ五箇条)」が実際に守られているかなどを確認したり、継続して呼びかけを行っていくなど、子どもが自ら課題意識を高められるような指導のあり方を考えていきます。				
進路指導	1	学校は、立志マラソンや職業調べ、社会人に学ぶ会、マナーアップ講習会、チャレンジウィークなどの行事や活動を通して、職業観や勤労観を育て、夢や希望をはぐくもうとしている。学校は、夢を持つことや職業観・勤労観を育てようとしている。	保護者	95
		先生は、立志マラソンや職業調べ、社会人に学ぶ会、マナーアップ講習会、チャレンジウィークなどの行事や活動を通して、私たちが職業や働くことについて意識を高め、夢や希望をはぐくめるよう指導してくれる。	生徒	95
	2	学校は、高校調べや進路ガイダンス(高校説明会)、市内高校見学会、オープンスクールなどへの参加指導などを通じて、子ども達が進路を定められるようにしている。	保護者	93
		先生は、高校調べや進路ガイダンス(高校説明会)、市内高校見学会、オープンスクール参加など指導を通じて、私たちが自分の進路を決められるようサポートしてくれる。	生徒	93
いずれも90%を超える高い評価をいただいています。1・2で取り上げた学年・学校行事等はいずれも行事であり、さらに、キャリア教育の視点から、社会的・職業的自立に向けて身につけさせたい力をはぐくめるよう、学級活動の時間と連動した学習のありかたを考えていきます。				
小中一貫教育・地域との連携	1	学校は、小中学校の学習のつながりを意識した授業をすすめたり、子どものよさや課題等の情報を共有して子どもの成長を支援したりするなど、小中一貫教育をすすめ、小中学校9年間で子どもを育てようとしている。	保護者	91
		先生は、小中学校の学習のつながりを意識した授業を工夫してくれたり、私たちのよさや苦手分野などの情報を小中学校の先生でやりとりしたりして、小中学校9年間で私たちが成長させようとしている。	生徒	90
	2	学校は、図書館ボランティアや部活指導、社会人に学ぶ会、マナー講習会などに講師をお願いし、地域の教育力を活用して、教育活動をすすめようとしている。	保護者	96
		先生は、図書館ボランティアや部活指導、社会人に学ぶ会、マナー講習会などで、地域の方に講師をお願いして協力してもらい、私たちの学習のプラスになるようにしてくれている。	生徒	95
藤岡市のすすめる小中一貫教育について、地域や保護者の皆様、子ども達にも理解が進んできた様子が見えがえします。さらに、各教科で小学校とのつながりを意識した授業づくりを推進していきたいと考えます。また、本校では、様々な教育活動に地域の方にご協力をいただいています。大変ありがたいことです。特別活動の領域が多いので、さらに教科等の学習で地域の皆様の協力を得た授業の可能性も探っていきたいと思ひます。				

学校評価に関するお問い合わせ  
 藤岡市立鬼石中学校  
 TEL 52-2750  
 教頭 櫻井 雅明



## その他 ご意見・ご感想 について

最後の記述欄にも数名の方に、ご意見・ご感想をいただきました。全体に係わることもありましたが、ここに紹介させていただくとともに、学校側からのコメントも掲載させていただきます。

○学校生活、部活動、先生方や仲間との関わりの中で、大人への階段を登りながらたくさんのことを学び、吸収し、笑顔で過ごしている息子を親として見守っていられる日々感謝しております。2学期以降もよろしく願いいたします。  
(2年生保護者)

◆部活指導は人づくり。人づくりは心づくり。と考えます。学校では、教育課程外の活動ではありませんが、子ども達が社会で生き抜くための力を身につける上でも部活動は、意義のある教育活動の一つだと考えます。8月からは、1、2年生の新チームに移行しましたが、単に、勝利を目指すだけでなく、私たち指導者も子ども達とともに、師弟同行を心がけ、人間関係をつくる人間関係力やこじれた人間関係を調整したり、修復したりする力、目標に向かう力、粘り強く頑張る力など、たくましさややさしさ、しなやかさを育てていきたいと考えます。

◆部活動については、「外部コーチ等との連携について疑問を感じる」というご意見(2年生保護者)もいただきました。具体的な記述がありませんでしたので、該当する部活動顧問に、お子さんと外部コーチとの関係等について、お話をさせていただきました。是非、保護者の方が部活動顧問にもご相談いただくとありがたいです。

○教科によってわかりづらい授業があるようです。わからない所があっても相談できる様子ではなく、わからないまま自分で理解しようと教科書を読んで学習しています。他の生徒も同じことを言っているみたいです。  
(1年生保護者)

◆ご意見ありがとうございます。学校では、先生方が授業力を向上させるために、校内研修を定期的に行っています。また、子ども達の学力向上のために、子ども達の学習に対する「わかる感」という意識調査を実施させていただきました。その中で、いくつかの教科で「わからない」「わかりづらい」という意見がありました。そこで、該当する教科の先生方と課題解決に向けた工夫について話し合う時間を持ちました。また、教職員一人一人がお互いの授業を見合い、自分の課題を明らかにすべく、切磋琢磨していく授業研究会も計画しております。子ども達が「わかる」授業を実現すべく、私たちも研修を継続していきたいと考えます。

○今年度から飯野校長先生になり、ホームページの更新の回数が多くなり、見る方としましては大変楽しみにしております。が、一日のアップ回数をもう少し少なくしてまとめていただけませんか。数日前の記事を見るのに苦労しております。  
(2年生保護者)

◆ホームページについては、保護者の皆様のアクセス数を見ても、大変多くの方々に関心をもたれ、閲覧していただいているようでありがたいと思います。学校では、子ども達の頑張る姿や本校の教育活動の「見える化」を図ろうと努めています。数日前の記事を見るのに苦労しているのご意見ですが、TOPページの「学校日記」をクリックしていただくと、数日前の記事の閲覧も容易になりますので、是非お試しください。

○陸上記録会は午後からでしたが見に行きました。子ども達が一生懸命頑張っている姿、まとめて盛り上げている先生方の姿にとっても感動しました。が、最後の片付けがだらだらしていたのが残念です。声をかける先生もいませんでした。数年前の鬼中の姿と比べてしまっして申し訳ありませんが、以前は片付けまでピシッとしていました。  
(2年生保護者)

◆今年度は、大会当日が天気予報に反して大変暑い日になりました。そんな中で、子ども達や職員が頑張っていた姿に注目していただいたのは、ありがたいことです。年々、生徒数が減少していく中で、これまで以上に子ども達が複数種目をかけもちする人数が増え、来年度以降は、学級対抗も難しく「団別」での開催になる予定です。学校としても、暑い中での子ども達の全力パフォーマンスを考えると、何とも言えない気持ちです。もし、ご理解とご協力をいただけるなら、市内の中学校がそうであるように、保護者の皆様にも片付けのお手伝いをいただくとありがたいです。